



## 人権・道徳の授業について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ながら保護者の参観は叶いませんでしたが、6月25日（金）に、人権及び道徳の授業を実施しました。

人権教育と道徳教育とは、人間の生き方や生活の根本に関わるものであり、知的理解と実践的行為に基づく人間性の育成をはじめ、様々な共通点があります。人権教育も道徳教育も、授業だけではなく、学校教育全体で組織的・計画的に日々の教育活動に取り組んでいかなければならないものです。

また、人権感覚にあふれた安全・安心な学校づくりを構築していくために、「いじめ」を重大なインシデントととらえ、「いじめは絶対に許されない」という基本姿勢を全教職員が自覚し、児童とともにいじめのない明るく楽しい学校生活を実現することが大切です。本校のホームページに「いじめ防止基本方針」を掲載していますのでご覧ください。

各学年・学級は、以下の内容で学習をしました。

学年・学級	学習内容	ねらい
みどり1組	かっくん	個性について考える。 (多様性の尊重)
1年	くれよんのくろくん	違いに気づき、お互いのよさについて考える。 (多様性の尊重)
2年	いいところみつけた (道徳)	自分や友だちの良いところを見付ける。(個性の伸長)
3年	あこがれの人 (道徳)	責任を持つことが自己肯定感につながることを理解し、自信をもって行おうとする心情を育てる。 (自立)
4年	一人ひとりが輝く社会	聴覚障害について理解し、自分たちにできることを考える。 (障害者理解)
5年	東京パラリンピックを楽しもう	パラリンピックの意義と価値について学び、誰もがスポーツを楽しむ、競い合うことができるようにしていることを理解する。 (人権問題)
6年	自分らしく生きる	性の多様性を理解し、自分らしく生きることの違いを認め合うことの大切さについて考える。 (多様性の尊重)

## 整いました！

休み時間が終わり、廊下を歩いていてふとトイレを見てみると、整然と並ぶトイレのスリッパ（右写真は、1年生が使用するトイレ）。すごいと思いつつ他のトイレも見てみると、きれいに揃っているじゃないですか。こんな事当り前のように思いますが、これって結構難しいことなんです。見えない次の人のために行う行為は、その場で評価されることが少ないため、長続きしないことが多いのです。新町小の仕草になってくれたらいいな！



## どんな人でも夢をかなえられる社会を目指して

4年生が、外部講師をお招きして学習をしました。

言葉を使わずに相手に晩御飯の内容を伝える活動を行いました。しゃべれない大変さを実感するとともに、いろいろな伝え方があることも学びました。

講師の先生への質問を通して、障がいを持つ人たちの思いや気持ちに少しでも寄り添うことができたのではないかと思います。

どんな人でも夢をかなえられる社会になってほしいですね。



## 7月の行事予定

- 12日(月) プール納め
- 13日(火) プール納め
- 14日(水) 起震車体験(5年生)
- 15日(木) 着衣水泳(6年生)
- 16日(金) 学期末個人懇談
- 19日(月) 学期末個人懇談
- 20日(火) 終業式

### 吾唯足るを知る⑤(仕草)

横断歩道に子ども(新町小の児童)の姿、車を確認し、横断歩道の前で立ち止まりました。歩行者を確認した車も一旦停止。よくある光景ですが、双方とも事故を未然に防止する行動がとられています。車が停止してくれたことを確認し、子どもが横断歩道を渡りはじめたとき、一つの仕草をみせました。お辞儀をしながら渡ったのです。思わず心の中で「かっこいい～」

と思いました。これは、意識的に教えないとなかなか身につかないものだと思います。『意識的に教える』と書きましたが、このような場合もあります。私の個人的な想像になりますが、ご家族で横断歩道を渡るときに、おうちの方の仕草を見て真似をしているうちに、いつの間にか仕草となって身についたのかもしれない。何にせよかっこいい仕草に変わりはありません。これこそが『家庭の教育力』だと思います。私自身どんな仕草が身についているのでしょうか？子どもの姿から自分を見つめ直す良い機会を与えていただきました。

